

## 第 5 章 消費者行動の変化

### 1 通信販売の利用

#### (1) 通信販売の利用頻度

通信販売を利用する比率は、県全体で71.9%である。前回調査との比較は、回答項目が若干異なるため、単純な対比はできないが、「2ヵ月に1回程度」(前回12.6%から今回17.3%)、「6ヵ月に1回程度」(前回37.2%から今回54.6%)の多頻度利用者は、大幅に上昇している(図表5-1-1参照)。

地区別にみると、通信販売を利用する比率が最大の秩父地区(73.8%)から、最小の東部Ⅱ地区(70.8%)の差はわずかであり、地区別の特徴はみられない。

図表5-1-1 通信販売の利用頻度

(%)

地 区	項 目 年	利用する				利用していない			無回答	計
		2 1 ヵ月 に 回 程 度	6 1 ヵ月 に 回 程 度	年 1 回 以 下	小 計	利用 しない	(注1) 利用 したい	小 計		
1. 京浜東北	平成12年	17.6	55.3	—	72.9	20.8	3.0	23.8	3.2	100.0
	平成7年	12.6	38.6	32.8	84.0	9.9	5.1	15.0	1.1	100.0
2. 東 部 Ⅰ	平成12年	16.1	54.8	—	70.9	21.0	3.4	24.4	4.6	100.0
	平成7年	11.9	35.2	34.3	81.4	10.8	6.6	17.4	1.2	100.0
3. 東 部 Ⅱ	平成12年	17.1	53.7	—	70.8	20.7	3.7	24.4	4.7	100.0
	平成7年	12.3	36.2	32.8	81.3	11.6	5.3	16.9	1.8	100.0
4. 西 部 Ⅰ	平成12年	17.2	54.6	—	71.8	21.6	3.1	24.7	3.5	100.0
	平成7年	12.9	36.2	34.1	83.3	10.1	5.1	15.2	1.5	100.0
5. 西 部 Ⅱ	平成12年	18.1	54.0	—	72.1	20.6	3.5	24.1	3.8	100.0
	平成7年	13.0	37.8	32.8	83.6	9.5	5.8	15.3	1.2	100.0
6. 北 部 Ⅰ	平成12年	17.2	53.8	—	71.0	22.0	2.5	24.5	4.5	100.0
	平成7年	11.8	35.9	32.0	79.7	12.3	6.7	19.0	1.3	100.0
7. 北 部 Ⅱ	平成12年	19.4	53.2	—	72.6	19.2	2.9	22.1	5.3	100.0
	平成7年	12.9	37.9	30.4	81.2	11.9	6.1	18.0	0.8	100.0
8. 秩 父	平成12年	18.0	55.9	—	73.8	19.2	2.6	21.8	4.4	100.0
	平成7年	17.4	44.0	24.5	85.9	7.8	5.3	13.1	1.0	100.0
県 全 体	平成12年	17.3	54.6	—	71.9	21.0	3.1	24.1	3.9	100.0
	平成7年	12.6	37.2	32.9	82.8	10.4	5.6	16.0	1.3	100.0

(注1) 平成7年は、「利用してもよい」

## (2) 媒体別の利用比率

媒体別で見ると、通販業者からのカタログ（66.8%）、新聞・雑誌（19.7%）、テレホンショッピング（9.6%）、インターネットショッピング（4.9%）となっている。

パソコンを持ちインターネットを利用している人に限定すると、インターネットショッピングの利用比率は16.9%である。

地区別にみると、いずれの媒体でも、大きな差はみられない（図表5-1-2参照）。

図表5-1-2 媒体別の利用比率（地区別） (%)

項目 地区	テレホン ショッピング	インターネット ショッピング	新聞・雑誌	通販業者 カタログ	(パソコンを持ちインターネットを 利用している人が) インターネットショッピング利用
1.京浜東北	9.4	5.1	19.0	68.0	16.1
2.東部Ⅰ	10.2	5.1	19.6	65.7	17.9
3.東部Ⅱ	9.4	5.0	21.6	66.2	19.9
4.西部Ⅰ	9.7	4.9	18.9	67.1	15.4
5.西部Ⅱ	8.6	5.0	20.0	66.6	16.7
6.北部Ⅰ	10.2	4.6	20.8	65.8	19.1
7.北部Ⅱ	9.8	4.4	21.1	66.2	20.7
8.秩父	10.1	3.6	21.8	68.2	17.0
県全体	9.6	4.9	19.7	66.8	16.9

注) 媒体別の利用比率とは、「よく利用する（2カ月に1回程度）」と「時々利用する（6カ月に1回程度）」を合わせた比率。

媒体別の利用比率を職業別で見ると、「テレホンショッピング」のみ、農林水産業（17.7%）、自営業（14.7%）の比率が若干高いが、その他の媒体では職業別の大きな差はみられない（図表5-1-3 a参照）。

図表5-1-3 a 媒体別の利用比率（職業別） (%)

項目 区分	テレホン ショッピング	インターネット ショッピング	新聞・雑誌	通販業者 カタログ
1.お勤め(県内)	9.4	4.1	20.7	67.2
2.お勤め(県外)	8.1	5.9	17.7	68.7
3.自営業	14.7	5.9	22.3	67.6
4.農林水産業	17.7	3.1	19.8	62.5
5.その他	11.4	3.9	20.6	58.2
6.無回答	6.7	3.4	14.6	39.3
県全体	9.6	4.9	19.7	66.8

媒体別の利用比率を買物担当者の年齢別で見ると、テレホンショッピングの第1位は50歳代(18.5%)、インターネットショッピングの第1位は20歳未満(9.1%)、新聞・雑誌の第1位も20歳未満(36.4%)、通販業者カタログの第1位は30歳代(70.3%)と、媒体によって利用する年齢層に差が出ている(図表5-1-3b参照)。

図表5-1-3b 媒体別の利用比率(買物担当者の年齢別) (%)

項目 区分	テレホン ショッピング	インターネット ショッピング	新聞・雑誌	通販業者 カタログ
1. 20歳未満	13.6	9.1	36.4	27.3
2. 20歳代	8.1	2.5	24.2	68.1
3. 30歳代	9.4	5.5	20.0	70.3
4. 40歳代	10.2	3.8	18.0	59.2
5. 50歳代	18.5	2.6	22.3	54.3
6. 60歳代	12.9	5.4	19.6	58.5
7. 無回答	8.5	2.9	14.8	36.8
県全体	9.6	4.9	19.7	66.8

媒体別の利用比率を買物担当者の有職状況で見ると、常勤の仕事を持つ人の「テレホンショッピング」(12.9%)、「インターネットショッピング」(6.8%)、「新聞・雑誌」(21.4%)が他の層よりも高いが、「通販業者カタログ」については、有給の仕事を持たない人が、68.3%と第1位となっている(図表5-1-3c参照)。

図表5-1-3c 媒体別の利用比率(買物担当者の有職状況別) (%)

項目 区分	テレホン ショッピング	インターネット ショッピング	新聞・雑誌	通販業者 カタログ
1. 常勤の仕事を持つ	12.9	6.8	21.4	66.7
2. パートの仕事を持つ	8.8	4.5	19.5	67.4
3. 有給の仕事を持たない	9.2	4.8	19.7	68.3
4. 無回答	7.3	3.2	14.2	39.8
県全体	9.6	4.9	19.7	66.8

(3) 通信販売で購入している商品

通信販売で購入している商品は、県全体では「ベビー・子供服」(40.9%)、「婦人服」(36.9%)、「日用・家庭雑貨」(24.3%)、「下着・肌着」(24.1%)、「家具・インテリア」(17.7%)等が多い(図表5-1-4参照)。

地区別にみると、「婦人服」が秩父地区(48.4%)、北部Ⅱ地区(42.5%)、東部Ⅱ地区(40.1%)と、県全体(36.9%)を大きく上回り、県北地域において、高い値を示しているが、その他の品目では、大きな地区格差はみられない(図表5-1-4参照)。

図表5-1-4 通信販売で購入している商品上位5項目(複数回答) (%)  
(県全体で、利用率が10.0%以上のもの)

項目 地区	ベビー 子供服	婦人服	日用 家庭雑貨	下着・肌着	家具 インテリア
1.京浜東北	40.6	34.3	24.5	24.1	17.9
2.東部Ⅰ	41.4	35.7	25.0	24.0	18.1
3.東部Ⅱ	41.3	40.1	21.5	24.4	16.0
4.西部Ⅰ	41.2	37.1	26.0	23.8	19.8
5.西部Ⅱ	42.4	37.5	25.6	24.0	18.2
6.北部Ⅰ	38.0	38.4	22.2	25.0	15.8
7.北部Ⅱ	38.0	42.5	21.5	24.0	15.6
8.秩父	43.7	48.4	19.9	21.8	12.3
県全体	40.9	36.9	24.3	24.1	17.7

通信販売を利用する比率の高い市町村の第1位は、西部Ⅱ地区の名栗村(82.7%)で、通信販売を利用しない比率の高い市町村の第1位は、西部Ⅱ地区の玉川村(44.4%)である(図表5-1-5、図表5-1-6、図表5-1-7参照)。

図表5-1-5 通信販売を利用する  
比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	名栗村	82.7	西部Ⅱ
2	松伏町	79.3	東部Ⅰ
3	伊奈町	79.0	京浜東北
4	花園町	78.8	北部Ⅰ
5	栗橋町	78.6	東部Ⅱ
6	美里町	77.6	北部Ⅱ
7	南河原村	77.3	北部Ⅰ
8	与野市	77.1	京浜東北
9	鶴ヶ島市	77.0	西部Ⅰ
10	大滝村	76.9	秩父

図表5-1-6 通信販売を利用しない  
比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	玉川村	44.4	西部Ⅱ
2	神泉村	42.8	北部Ⅱ
3	東秩父村	38.9	西部Ⅱ
4	都幾川村	37.0	西部Ⅱ
5	北川辺町	30.7	東部Ⅱ
6	横瀬町	30.6	秩父
7	久喜市	30.3	東部Ⅱ
8	東松山市	30.0	西部Ⅰ
9	両神村	29.4	秩父
9	杉戸町	29.4	東部Ⅰ
9	江南町	29.4	北部Ⅰ

図表 5-1-7 通信販売利用比率上位10市町村及び下位11市町村



## 2 パソコンの利用

### (1) パソコンの普及状況

パソコンを持っていると回答した世帯は、県全体でみると、48.2%と約半数となっている（図表5-2-1参照）。

地区別にみると、第1位は京浜東北地区（50.7%）、最下位は東部Ⅱ地区（43.9%）であるが、大きな地区格差はみられない。

図表5-2-1 パソコンの普及状況（地区別） (%)

地区	パソコンを持つ			パソコンを持たない	無回答	計
	インターネットを利用している	インターネットを利用していない	小計			
1.京浜東北	30.2	20.5	50.7	46.6	2.7	100.0
2.東部Ⅰ	25.9	19.3	45.2	51.0	3.8	100.0
3.東部Ⅱ	22.7	21.2	43.9	52.5	3.6	100.0
4.西部Ⅰ	29.7	20.1	49.8	47.1	3.1	100.0
5.西部Ⅱ	27.6	22.1	49.7	47.1	3.3	100.0
6.北部Ⅰ	23.2	22.1	45.3	51.1	3.6	100.0
7.北部Ⅱ	17.5	26.9	44.4	50.7	4.9	100.0
8.秩父	19.6	25.3	44.9	52.1	3.0	100.0
県全体	27.2	21.0	48.2	48.6	3.2	100.0

パソコンを持っている人を職業別で見ると、「お勤め（県外）」（56.9%）、「自営業」（49.7%）が、全体より高くなっている（図表5-2-2 a 参照）。

図表5-2-2 a パソコンの普及状況（職業別）（%）

職業別	普及率
1. お勤め(県内)	43.0
2. お勤め(県外)	56.9
3. 自営業	49.7
4. 農林水産業	46.9
5. その他	36.2
6. 無回答	28.6
県全体	48.2

買物担当者の年齢別で見ると、20代は26.3%と最も低く、30歳代、40歳代は、全体より普及比率が高い（図表5-2-2 b 参照）。

図表5-2-2 b パソコンの普及状況（年齢別）（%）

買物担当者の年齢別	普及率
1. 20歳未満	45.5
2. 20歳代	26.3
3. 30歳代	49.0
4. 40歳代	53.3
5. 50歳代	31.3
6. 60歳以上	46.0
7. 無回答	27.6
県全体	48.2

買物担当者の有職状況別で見ると、「常勤の仕事を持つ」（53.9%）、「有給の仕事を持たない」（49.5%）が、全体よりも普及率が高くなっている（図表5-2-2 c 参照）。

図表5-2-2 c パソコンの普及状況（有職状況別）（%）

買物担当者の有職状況別	普及率
1. 常勤の仕事を持つ	53.9
2. パートの仕事を持つ	45.2
3. 有給の仕事を持たない	49.5
4. 無回答	27.4
県全体	48.2

パソコンを所有する比率の高い市町村の第1位は、秩父地区の大滝村(61.5%)で、パソコン所有率の低い市町村の第1位は、北部Ⅱ地区の神泉村(64.3%)である(図表5-2-3、図表5-2-4、図表5-2-5参照)。

図表5-2-3 パソコンを持っている  
比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	大滝村	61.5	秩父
2	和光市	59.2	西部Ⅰ
3	横瀬町	58.3	秩父
4	与野市	58.1	京浜東北
5	浦和市	58.0	京浜東北
6	鳩山町	57.3	西部Ⅱ
7	朝霞市	56.6	西部Ⅰ
8	蕨市	56.5	京浜東北
9	所沢市	55.2	西部Ⅱ
10	東松山市	53.7	西部Ⅰ

図表5-2-4 パソコンを持っていない  
比率の高い市町村 (%)

順位	市町村	比率	地区
1	神泉村	64.3	北部Ⅱ
2	荒川村	64.1	秩父
3	南河原村	63.6	北部Ⅰ
4	毛呂山町	58.9	西部Ⅱ
5	江南町	58.8	北部Ⅰ
6	吉田町	58.6	秩父
7	菖蒲町	58.3	東部Ⅱ
8	川里村	58.2	北部Ⅰ
8	滑川町	58.2	西部Ⅰ
10	飯能市	58.1	西部Ⅱ



図表5-2-5 パソコン所有率上位10市町村及び下位10市町村

